

蹴友



開成サッカー部
OB会誌 No.27
2009年5月12日

会員のみなさんの連絡、お問い合わせは

開成サッカー部OB会事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘1-9-28

一音寺内 TEL 03-3811-4061

試合探訪記

08年度の新人戦

高校は地区の決勝リーグへ進出！

昨年春の「蹴友」で07年度の新人戦（高校）のレポートをしました。が、レポートした試合（VS日大15・0の圧勝）の翌週の地区トーナメントの決勝をゴルフで観戦できず、後で東京都高体連サッカー部のHPで「かえつ有明」に1・2で惜敗したことを知って非常に残念な思いをしました。さらに、非常にバランスとれたいいチームだったことと、その後「かえつ有明」が関東大会の東京都予選に勝ち進み何と準優勝して本大会まで行ったことをHPで知ったことから、再度くじ運の悪さを嘆いたものでした。そんな訳で、08年度も1・2回戦を勝ち抜き、地区トーナメントの決勝が11月22日に都立本所との間で行なわれることをHPで調べ、翌日のOB会総会で



▼最近《時間》というもの
ものが気になって仕方
がない。この《時間》
というもの、哲学的な

議論に踏み込めば、手に負える代物ではないが、もつと身近な場で考え
ると、間違いなく我々のものの考え
方の根底には《時間》の観念が存在
し、喜怒哀楽の感情に関わったりし
ている。▼例えば、サクラ。『万葉
集』の時代には、人々は桜を主とし
て《死と再生》という、《循環する
時間》で見ていたようだ。『古今和
歌集』では数多い桜の歌群は、実に
精密に、《うつろう時間》の流れに
従って排列され、サクラの《時間》
は滅びに向かっていく。▼我が開成
、或いは我らの開成サッカー部には、
今、どのような《時間》が流れてい
るのだろうか。私立学校の基盤なんて
モロイもの。移ろう時間は無常迅速
：などとは、トシが思わせるのか。

（順）

良い報告が出来ることを期待して会場である都立葛飾商業に出向きました。

会場には多数の父兄が来ていましたが、父兄の一人が私がサッカー部OBと分かると思ひ寄って来て、「S52の秋元です。息子が高2で試合に出ているので見に来ました。」とのことでした。S52は私がサッカー部の監督をしていた時の高1だった年代なので直ぐに先輩風を吹かして、「君の同期には泉君・野村君・渡邊君がいるね。羽深君は確か父母と先生の会の会長だったね。」と話す、秋元君から「現在私は私が父母と先生の会の会長やっています。」との話になり、開成の話題でいろいろと盛り上がりつつしまいました。

肝心の試合の方ですが、前半からボゼッションは70・30くらいの感じで圧倒的に押しているのですが、日本代表のように詰めが甘くゴールにならない中、逆にカウンターから一点を取られてしまいました。しかし、何とか前半終了間際に同点に追いつきハーフタイムを迎えました。前半が終わると一緒に観戦していた秋元君を始めとする父兄に、「後半、先に点を取れば開成の優勝でしょうが、なかなか点が取れないと苦しくなりますよ。」と解説者の予想

までしていました。

後半が始まると開成が当初から攻勢に出てPKで追加点を上げ、さらにもう一点加えたところで勝負は決していました。最終スコアは4・2の快勝でしたが、チームのレベルとしては07年度のチームの方がかなり上だったなと感じた試合でした。結局、地区では開成・都立葛飾野、関東一、都立城東が勝ち上がり地区の決勝リーグに進みました。

最初の試合が11月24日とOB会総会の翌日でしたが、折角地区の決勝リーグに残ったことだし、前日のOB会総会を早退してお台場の大江戸温泉物語での小学校の同期会（中学から開成である私にとっては女性に参加する唯一の同期会なのだ）に出席しそこに宿泊もしていたので、家内の「まだ、開成のサッカーの試合を見に行くの？」なんて罵声も浴びずに、大江戸温泉物語からそのまま買ったばかりの愛車レクサスS500Sを運転して地区の決勝リーグの会場である都立葛飾野に足を運ぶことが出来ました。

初戦の相手は都立葛飾野で相手の応援の歌声（これが結構揃っていてすごかった）が響き渡る完全アウェーの戦いでした。

ホームの相手に圧倒的に押される中、辛抱強いデフェンスで何とか凌いでいたので、前半0・0ならば相手が焦ってきて面白いのだからと思っていた矢先に先制点を取られてしまいました。結局、自力の違いは如何ともし難く0・3での完敗でした。その後の試合は見に行きませんでした。HPで見ると後の2試合ともに同じく0・3で敗れていました。実力的にも妥当な結果かなというのが正直な感想でした。しかし、今年度（09年度）の高2は3年前の中学の新人戦で東京都ベスト4になった年代です。のでかなり期待できます。OBの皆さん、現役の試合を見るのはなかなか面白いですよ。私も時間を作って見に行きますので、試合場でお会いしませんか…

（S47中村利尚・記）



今年の「OB親睦フットサル大会」は 6月7日（日）に開催！

S60の安藤です。開成サッカー部OB会では、OB間の親睦を図るために、毎年春に「OB親睦フットサル大会」を開催しております（毎年60名以上が参加しています）。

今年も以下のような日程で開催いたしますので、同期のメンバーなどに、メールや電話で積極的に声をかけていただき、奮ってご参加ください。個人での参加も大歓迎です。

日時： 09年6月7日（日） 12：30クラブハウス集合！
場所： ジョモニスタ南与野（昨年と同じ）
〒338-0832 埼玉県うたま市桜区堀9-17-4（南与野駅徒歩5分） TEL 048-859-6701

概要： ジョモニスタ南与野のHP <http://www.jomonista.com/myono/>
13：00～16：00フットサルコート（人工芝）を3面使用

大学生OB中心には「学年対抗ガチンコフットサル（二チーム5名）」
30歳以上OB&40歳以上OBは「年齢相応のそれなりフットサル」

懇親会： 今年もゲーム後（17：00頃から）、「千佳勢（北浦和駅そば）」
フットサル場から徒歩15分くらいです。一懇親会だけの参加も大歓迎です！

千佳勢のHP <http://www.morikuma.co.jp/senkase/index.html>

申込： 各年代、または前後の年代でチーム（5名以上で二チーム）を結成して、
S47の中村さん（nakamura-05r4@jp.nomura.com）へ

私、安藤（takuro-a@hanzomon.gr.jp）へ参加希望メールを送付してください！



昨年の大会風景



3月29日(日)にサッカー部OB 14名で「ゴルフコンペ」をやりました!

S47卒 中村 利尚



〈私のメール〉
昨日は、「第一回サッカー部中村関連OBゴルフコンペ」にご参加いただきありがとうございます。また、記念すべき第一回大会に優勝させていただき誠にありがとうございます。君達も社会人生活も長くなり先輩を立てる術を身につけたということですね。

〈S51卒の池田君のメール〉

S47の中村です。私は、50歳の大台乗せ寸前の02年の秋に突然「男の更年期障害」になり、それまでプレーしていたサッカーと野球を「アラ還(around 還暦)」まで継続するという目標やOB会総会での中学生とのゲームで最年長得点記録を更新するというさやかな夢も費えてしまい、ここ数年はフットサル大会やOB会総会などのプロモーションに専念しておりました。

すると、昨年の初めごろから、私がコーチ及び監督をしていた年代のサッカー部OB達が私を元氣付けようとゴルフに誘ってくれるようになりました。彼らと何回かラウンドするうちに、ゴルフでの学年対抗をやるという話が持ち上がり、「第一回開成サッカー部中村関連OBゴルフコンペ」と銘打ちメンバーを集めたところ、S47の私からS60の安藤君と洪君までの14名が参加してくれ、非常に楽しいゴルフコンペになりましたのでご報告します。

参加者及び組み合わせは以下の通りで、場所は太平洋クラブ市原コースでした。第1組は、S50の高津君、多田君、野本君、渡辺君の4人で同期ゴルフ、第2組は、S51の池田君、水戸君、S52の泉君、内藤君のS51VS S52の対抗ゴルフ、第3組は、S55の武田君、山田君、S57の川崎君の高3と高1の先輩後輩ゴルフ、第4組は、S60の安藤君、洪君、S47の私のコースを紹介しながらのゴルフ。新ペリア方式でハンディキャップを計算して順位をつけたところ、運良くホームコースという利を生かした私が優勝しました。以下に翌日の私のメールとS51卒の池田君のメールを抜粋して載せます。池田君、無断掲載許してね。

昨日は優勝おめでとうございます。「第一回NAO杯」が最もいい形でのフィナーレを迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。S52VS S51は久しぶりお喜び申し上げます。S52VS S51は久しぶりお喜び申し上げます。いつもよりワンパットに気合が入り、勝負どころで長いパットを何回かねじ込みましたねー。でも、どうもS51は勝手なFW同士で歯車かみ合わず、第一打は折角お互いいいのにどっちかが第二打OBとか(笑)入れ込み過ぎで責任背負ってプレッシャーで自滅パターンでしたが、S52はDF同士で守備がうまく、どっちかがいい時はどっちもそれなりにき

ちんと、悪い時もこっちのミス待ちであきらめないプレーでトータル4ダウンを喰らいました。今度は、S50、S55、S57、S60ともやりたいですね。S60にはエブリワンやっても勝てますね、多分(笑)。洪君は要注意だが安藤君が安全パイ(笑)、安藤君にはうちの秘密兵器Mを同業の先輩ということでぶつけてプレッシャーをかけ、洪君には直接私が口撃プレッシャーをかけて圧勝でしょう(笑)。もちろん、中村さんのS47ともお願いします!



会長企画ゴルフコンペのご案内



- ◇日時: 09年9月10日(木)
- ◇場所: 千葉カントリークラブ 川間コース
- ◇開始: 8:28~
- ◇参加者: 5組20名
- ◇参加費: 2万円
- ◆申込み: fujisakidt@msn.jp



お世話になりましたOBのみなさん、OB会のみなさん
親睦と健康と益々のご活躍といい人生をめざして
ぜひいっしょにプレーしましょう。

※企画の手伝いをしてくれる人募集中! 連絡はOB会事務局まで。

ご報告

OB会総会

12月12日は、毎年OB会総会です。藤崎新会長は、神妙な面持ちで初挨拶。学校側からは池谷、吉田の両顧問が現況を説明。その後、レセプションとなった。今年は料理も豊富で、いい総会であった。



右は、挨拶をする藤崎会長
下は、挨拶を聞く現役。会場は開成食堂。



OB会忘年会

恒例のOB会忘年会は、12月12日いつもの神田「好好」で行われました。「好好」は開成山岳部の先輩、通称「北京さん」の北京料理店で、山岳部の溜まり場になっていて、サッカー部も含めて開成のOBがよく利用する店です。四千円会費で呑み放題で納まるというリーズナブルさ、次回は暑気払いもやりますから、ぜひお来し下さい。



左手前の顔は伊東清志氏 (S37 卒)、その隣は藤崎会長さて、右から伸びる手は誰？

河田直樹君の33回忌

もう、みんな還暦

河田直樹君の33回忌の墓参りしてきました。線香をたむけ、彼に墓参りのご無沙汰を詫げる。私たちS43卒は、8人中4人が4月生まれだから、もう還暦である。集まった仲間が皆ふけたけど、彼の面影は歳をとらない。合掌、そして、また来るよ。



河田直樹君の墓の前で、前列左は平林、右は本杉
後列左は平山、右は望月 (いづれも S43 卒)

短信

※この文章は、総会案内への返信からいただいています。

梶井 熙 S18 卒

幹事さん何時もご苦勞様です。往年のホルモンタンクも年齢には勝てません。サンデー毎日です。

※大先輩、いつまでもお元気でいて下さい！

丸岡 将晃 S26 卒

ボールも靴も手直ししながらサッカーをしていた一九四五〜五〇年の時代を経た私達は、会報で現役の雄姿や、元気なOBの皆さんを拝見し、喜んでいきます。

林 孝明 S32 卒

一昨年〇月、社長職を倅に譲って、会長職になりましたが、社外の用務を8つも引き受けて、かえって多忙な毎日です。

栄 隆男 S30 卒

大学をリタイアして四年目になり、少しは時間的ゆとりができたと思いきや、かえってローカルなことが多くなり、忙しくしています。

見方 克右 S35 卒

ご無沙汰しております。タバコをやめて、お酒と時々ゴルフでがんばっています。

牧野 直之 S36 卒

悪い心臓をかばいながら、比較的元気にしています。興奮するので心臓に悪いと、サッカーを近くの国立競技場に観に行くのを禁止されているのが残念です。

吉澤 壽雄 S40 卒

S40卒の私にとって、藤崎、星野両氏の言葉を拝見し、うれしく、また大いに期待しております。英語の五十嵐玲輔先生が近所にお住まいで、月一回 Middle English を肴に酒を呑んでいます。ここ数年、Geoffrey Chaucer の Canterbury Tales にどっぷりです。休日はカメラと水泳で過ごしています。

伊藤 彰 S40 卒

一月二二日に矢幡市で「ラジオ深夜の集い」と文楽公演、二三日も文楽公演、二四日は原信夫（シャープ&フラッツ）の引退記念コンサートと、遊び三昧です。

石川 隆一 S42 卒

ついに還暦を迎えました。周りはお目出とうと言ってくれますが、ちっとも嬉しくありません。東京マラソンへのエントリーとか、はしご酒とか、いい歳をして相変わらず無茶をしています。

羽深 成樹 S52 卒

昨年一月に防衛省に移動しました。

伊藤 直樹 S53 卒

インド転勤で、先日赴任しました。

澤田 康幸 S61 卒

高一の時にコーチだった松井彰彦先生と同じ職場におります。

須藤 隆之 H2 卒

長崎に転勤し、二年経ちました。元気にしております。

江上 誠之 H19 卒

H20年一橋大学に入学し、アメフト部で頑張る毎日です。

土屋 智史 H20 卒

千葉大医学部ラグビー部に所属

※みなさまの近況をお待ちしています。

《読書案内》

中条一雄著 『デットマール・クラマー』

私たちは「シゴキ+クラマー流」だった

中条一雄著『デットマール・クラマー』（ベースボール・マガジン社2008年）を読んだ。布団に入って読み出すと面白くて、夜中までかかって読んでしまった。

クラマー氏は、1964年の東京オリンピックを前にして、日本チームを強化するために、ドイツから呼ばれた名コーチである。私は1962年に中学に入っ

て、サッカー部に入部してサッカーを始めたから、本書は正に同時代史であった。

クラマーさんは、貧乏な日本のサッカー協会に招かれて、ほとんどボランティアのように、全国のあらゆるレベルにコーチしたから、次第に「クラマー流」が伝えられた。

私たちの学年は、S35卒の見方さんがコーチであったが、見方さんもクラマーさんの薫陶を受けた人であったから、当時の練習はまだシゴキ系の練習が主流であったが、私たちは「シゴキ+クラマー流」で、サッカーを教わったのであった。

（S43卒 平山 昇）



事務局からのお知らせ

会費の納入、ありがとうございます

会費を納入されました方々のご氏名につきましては、昨年の「蹴友」秋号発行から今年の「蹴友」秋号の発行までに納入されました方々の一覧を、「蹴友」秋号に掲載いたします。

なお、会費は、社会人OBの方には、年度会費一口五〇〇〇円、四〇歳以上の諸氏には、なるべく二口以上お願いします。

今年度も現役に60万円を助成しました

集まりました会費の中から、毎年60万円を現役に助成しております。開成サッカー部の伝統を引き継ぐために、ぜひご協力をお願いいたします。

ご存知ですか OB会のホームページ

下記のアドレスで、OB会のホームページがあります。近況の書き込みなど、よろしく願います。

<http://bbs8.as.wakwak.ne.jp/bbs.cgi?id=10114>